

「第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア」開催結果について

都市環境整備課

1 要 旨

令和2年3月19日から250日間、県内一円で開催してきた第37回全国都市緑化ひろしまフェア「ひろしま はなのわ 2020」（以下、「ひろしまフェア」という。）は、全ての行事が終了したことから、開催状況（来場者数、事業費見込み、成果等）について報告する。

2 開催状況（詳細は別紙参考資料のとおり）

ひろしまフェアは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開会式や全国都市緑化祭などの行催事やイベント等を中止し、各会場において適切な感染防止対策を講じた上で会場の運営を行い、感染者の発生がなく無事終了することができた。

(1) 会場

メイン会場	場所	中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺 [広島市]
	期間	○集中展開期間 3月19日（木）～ 5月24日（日） [67日間]
		○連携イベント展開期間 5月25日（月）～11月23日（月・祝） [183日間] 【他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを実施】
協賛会場	場所	国営備北丘陵公園 [庄原市]，県立せら県民公園 [世羅町] 県立びんご運動公園 [尾道市]，県立みよし公園 [三次市]
	期間	3月19日（木）～11月23日（月・祝） [250日間]
スポット イベント会場	場所	県内23市町のスポットイベント会場
	期間	2020年に開催する各スポットイベントの実施期間（12月31日まで）

(2) 来場者数

区分	来場者数	備考
メイン会場	286,300人	目標：来場者数160万人
協賛会場	759,400人	目標：対前年来場者増加数 80万人 実績※：対前年来場者増加数 ▲522万人
スポットイベント会場	3,787,100人	予定201のうち開催115
合計	4,832,800人	

※ 目標は平常時の開催を想定した設定としており、コロナ禍での実績との比較が困難であることから、実績については参考に掲載する。なお、前年来場者数は中止したイベント分も含む。

(3) 事業費

事業費は、当初、主催者負担金による概ね 12 億円としていたが、次表に示すとおり、支出額約 11 億 9 千万円、収入額約 12 億 8 千万円となる見込みである。

収入額（見込額）

項目	金額（百万円）	主な内訳
負担金	1,199	主催者負担金
協賛金・その他	77	協賛金、自治体出展花壇負担金等
合計	1,276	

支出額（見込額）

項目	金額（百万円）	主な内訳
当初計画どおり実施したもの	1,199	メイン会場の整備・運営及び展示出展、プレイベントの開催等
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施できなかったもの	▲89	オープニングセレモニー及び開会式、全国都市緑化祭、集客・交流イベントの実施等
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として実施したもの	3	消毒液の設置、検温の実施、飛沫防止等
来場機会消失に対して効果促進等のために新たに実施したもの	74	メイン会場の延長展示、フェア紹介映像の制作・配信、花緑イベントの実施等
合計	1,187	

※金額は現時点での見込みである。

(4) 成果

- ひろしまフェアの開催を通じて、広島ならではの多彩な花や緑、伝統文化等の地域資源の素晴らしさを再認識するとともに、公園などのオープンスペースを花や緑で彩りを加えることによりにぎわいと華やぎの空間を構築し、花や緑の力やその大切さを実感していただく機会を提供できた。
- ひろしまフェアを契機として、県内各地のイベントが花や緑等でブラッシュアップされるとともに、県内一円に花と緑をつなぎ手とする新たな交流と絆が生まれ、おもてなしの心と笑顔の「わ」を広げていく気運が醸成された。
- 県内外の自治体、企業・団体及び学校等の様々な主体が連携し、広島ならではの「花と緑のおもてなし」を繰り広げることにより、地域の豊かなライフスタイルの創造や豊かな地域づくりの担い手の育成に寄与することができた。
- 戦災・災害等から緑豊かに復興した広島姿や復興の歴史を知ることにより、花や緑等を通じて平和の尊さを体感し、世界恒久平和の実現を含む「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた市民意識の啓発に貢献した。

3 今後の取組

ひろしまフェアの成果を継承しつつ、これからも花と緑にあふれ、景観も人の心も温かく美しいまち「広島」の実現を目指して、引き続き、主催者・共催者である国、県及び県内 23 市町と連携し、都市緑化の推進に向けた実効性のある取組の展開を図る。

「第 37 回全国都市緑化ひろしまフェア」開催状況について

1 メイン会場【中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺】

(1) 行催事等

区分	行催事	実施日	主な内容・テーマ	来場者数
公式行事	内覧会（開催者・地元住民）	3月17日		
	閉会式 （広島県立総合体育館大アリーナ）	11月23日	各種表彰式、はなのわ宣言、フェア旗引継ぎ式等	350人
主催者催事 （シンポジウム）	都市緑化シンポジウムin世羅 （甲山農村環境改善センター）	9月19日	自然を活かした持続可能な地域づくり ～豊かな里山のシンボル“ヒョウモンモドキ”を 例として～	100人
	都市緑化シンポジウムin庄原 （国営備北丘陵公園）	9月27日	花の持つ力 ～「花と緑のまちづくり」の魅力と可能性～	100人
	都市緑化シンポジウムin広島 （広島市南区民文化センター）	10月17日	花と緑が魅せるひろしまの未来	200人
交流イベント （市町の日）	大崎上島町（メイン会場）	4月10日	観光パンフレット・チラシの配布	2,000人
	広島市（メイン会場）	4月11日	広島広域都市圏PR	1,000人
連携イベント （主なもの）	装エン祭 しばdeねころぶ マルシェ 39!1187!! （メイン会場）	7月23日～ 7月26日	花緑・手作り雑貨・飲食販売	5,000人
	花れて輪になれ えがおひろ しま2020（メイン会場）	10月31日～ 11月1日	マルシェ、ヨガ・ステージイベント等	9,100人
	はなのわマルシェ （メイン会場）	11月21日～ 11月23日	花緑・雑貨・飲食販売、 大道芸、ステージイベント等	21,500人

(2) 中止した行催事等

オープニングセレモニー、開会式、節目セレモニー（来場 50 万人等）、全国都市緑化祭、ステージ催事、メディアタイアップ催事、花と緑のワークショップ・展示会、飲食の提供、物販等

(3) 展示、出展

出展名称 （出展場所）	出展団体	区画数（面積）
ひろしまお祭りガーデン （ひろしま風景ゾーン）	県及び県内 23 市町	24 区画（4.9㎡）
わがまち自慢花壇 （はなのわ）	県及び県内 23 市町 （第1弾：7/4～9/13、第2弾：9/19～11/23）	計 48 区画（4.9㎡） （24 区画×2）
にっぽんピースガーデン （希望と思い出ゾーン）	県外の 17 自治体 県（5）：長野、静岡、岡山、鳥取、島根 政令市（12）：札幌、仙台、横浜、川崎、相模原、 静岡、浜松、神戸、岡山、北九州、 福岡、熊本	4 区画（20㎡） 13 区画（13.8㎡）
高校生出展庭園 （希望と思い出ゾーン）	造園系科目のある県内高等学校（西条農業・庄原実業） 及び高校生を対象とする全国造園デザインコンクール特別 賞受賞校（京都府立農芸高等学校）	3 区画（20㎡）
ひろしま未来ガーデン （森のガーデンゾーン）	50 の企業・団体	19 区画（12㎡） 31 区画（20㎡）

2 協賛会場【国営備北丘陵公園・県立せら県民公園・県立びんご運動公園・県立みよし公園】

各協賛会場では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国営備北丘陵公園は4月18日から5月13日まで全面閉園し、また、県立3公園は3月19日から5月24日まで屋外展示を残してイベント等を中止したが、国及び県において、適切な感染防止対策を実施した上で、周辺のスポットイベント会場等の情報発信コーナーを設置するとともに、花壇による花の演出やシンボルディスプレイの設置、53のイベントを開催した。なお、期間中、国営備北丘陵公園は284,200人、県立3公園は475,200人の来場があった。

協働推進については、特別支援学校の児童・生徒が育成した花苗を飾るとともに、公園利用者や地域の方が「たねダンゴ」づくりや花苗の植え付けを行った。

また、県立三次中学校・高等学校の美術部が製作した三次をテーマにした色鮮やかな和傘を県立みよし公園のしょうぶ園に飾り、これまでにない魅力的なしょうぶ園を楽しんでいただいた。

3 スポットイベント会場【県内23市町】

スポットイベント会場で開催を予定していた201のスポットイベントについては、それぞれの特性に応じて各主催者が行催事等の見直しと適切な感染防止対策を実施した上で、86は中止となったが、115が開催され、期間中、3,787,100人の来場があった。

また、県内一円のスポットイベント関係者が参加する交流会やテーマ別会議である「はなのわ会議」を県内各所で11回開催し、新たな絆が生まれ、スポットイベントのブラッシュアップ（花と緑等をキーワードとした新たな工夫）の検討に取り組んだ。

さらに、スポットイベント同士の連携促進や県内一円で回遊と交流を生み出すことを目的として、会場から次の会場へ生花のバトンをつないでいく「はなのわりレー」（11回）のほか、「はなのわスタンプラリー」（参加者：1,336人）を実施するとともに、季節ごとのガイドブック（3回）を発行した。

4 観客誘致、広報宣伝

県内外からの来場促進と、県内全域で回遊と交流を生み出すことを目指し、効率的な観客誘致と広報宣伝を展開した。今後、フェアの紹介映像を含む、開催準備から閉会までをまとめた公式記録を作成する。

項目	実施内容等
キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 県内で開催されるイベントにおいて、PRグッズの配布などを行い、ひろしまフェアを広くPRした。 さらに、ひろしまフェアの開催理念を広く周知するとともに、今後の都市緑化に寄与するため、動画を制作し動画配信サイトで配信した。
イメージ戦略	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月に、PR大使として「ひろしま はなのわ 2020 フラワーアンバサダー」をSTU48に委嘱した。 令和元年11月に、公式テーマソングとしてポルノグラフィティの楽曲「一雫（ひとしずく）」を決定し、各イベント会場のBGMやテレビCM・ラジオCMに起用しました。
広報ツール	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年3月に、ポスター・チラシ（第一弾）等を作成するとともに幟旗やPRグッズを作成した。 令和元年11月に、フラワーアンバサダーなどを起用した新たなデザインのポスター・チラシ（第二弾）等を作成し、昨年2月にはリーフレットやメイン会場マップ（英語版を含む）、協賛会場マップを作成して会場の見どころや植物の種類を紹介した。
メディア等の媒体活用	<ul style="list-style-type: none"> STU48が出演するPR動画のインターネット配信やデジタルサイネージ上映を展開するとともに、タウン誌への広告掲載等を実施した。 県内及び隣県（山口、島根、鳥取、岡山、愛媛）へのテレビCM、県内へのラジオCMを放送するとともに、新聞広告を6回掲載した。
広告物設置	<ul style="list-style-type: none"> 県及び県内23市町庁舎等に加え、広島港、広島バスセンターの協力をいただき、広告物を掲出した。 県内造園団体加盟企業及び広島花き商業協同組合加盟店舗へ掲出を依頼した。 各公共交通機関等への広告物掲出を実施した。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 公式ホームページ及び公式SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を活用した情報発信を実施した。 令和元年11月に作成したPR動画を、公的媒体や動画配信サイトで配信した。
スポットイベント連携	<p>スポットイベント情報及び写真、周辺観光スポット等を掲載したガイドブック（春号、夏号、秋号）を発行するとともに、新たなツアー企画及びレンタカー連携を旅行会社等に働き掛けた。</p>
参加協賛	<p>企業・団体から100件の協賛をいただいた。</p>